

令和6年度 第3回「甲府市中小企業・小規模企業振興推進委員会」議事録要旨

日 時 令和7年2月27日(木) 10時00分～11時30分
場 所 甲府市役所本庁舎4階 大会議室
出席委員 西久保浩二委員長、田中由美副委員長、村松晴己委員、飯島司委員、平岡浩委員、
濱田哲一委員、今井裕久委員、内藤恵一委員、河野嘉孝委員
事務局 近藤商工観光室長、角田商工課長、宮野地域デザイン課長、加藤地域デザイン課
係長、梅澤地域デザイン課課長補佐、矢崎商工課課長補佐、土橋商工課課長補佐、
成田商工課主任

次 第

1 甲府市中小企業・小規模企業振興推進委員会

1、開会

2、議事

(1) 前回までの委員会の振り返り

(2) 甲府市商工業振興行動計画

ア「中心市街地等の活性化」について

イ「次期計画の概要」について

(3) その他

3、閉会

2、議 事

(1) 前回までの振り返り

事務局より、資料の『前回の委員会での振り返り』、『がんばろう甲府！プレミアム付き商品券(第3弾)』、『これからの委員会の取組』に基づき、説明。

○委員からの意見等

(委員長) 事務局から説明があったが、意見・質問はありますか。

(委員) 予算全体の1/4が事務費となっており、非常に経費率も高いと思われるが、他のやり方は検討できないでしょうか。また、予算の内訳として、国の補助金と市の持ち出しの経費はどのようになっているのでしょうか。さらに、デジタル商品券について、第1弾のときは、スマホにアプリを入れてやっておりましたが・・・第3弾でも同様に設置して説明会を開催することになるとは思いますが、そのようなやり方しかないのでしょうか。

(事務局) ありがとうございます。プレミアム付き商品券の事務費ですが、デジタルと紙と

の併用ということで、紙の印刷費やデジタルのシステム構築などに費用がかかりますので、これらを市の直営で実施しようとしてもハードルが高く難しいです。予算については、国の交付金を活用した事業になりますが、他市でも同時多発的に同じような事業を展開していますが、やはり直営で実施しているところはない状況となっております。

また、第1弾と第2弾は、独自のアプリを使用して実施しましたが、アンケートをとった結果、やはり少し使いづらいという意見もありましたので、第3弾につきましては提案型プロポーザルで事業者を決定しますが、利用者の利便性を重視して評価していきたいと考えております。

経費内訳については、手元に細かい数字がないのですが、半分以上は国の物価高騰対策の交付金で、それ以外は一般財源を投入して実施していくものとなっております。

以上です。

(委員) もし仮に第4弾、第5弾を実施するとしたら、第3弾のシステムをそのまま活用することは難しいのでしょうか。

(事務局) 第1弾と第2弾の事業者は同一事業者であったため、システムの利用にかかる費用は支払う必要がありましたが、同一事業者になることで、店舗の新規開拓など省ける経費があり、第2弾の委託金の方が低くなっております。第4弾については、この先も物価高騰が続き、国から交付金がどのタイミングで出してくるのか、そもそも出してくるかどうかも含めて不透明のため、今回の第3弾については、利便性の高い事業者を選定していきたいと考えています。

(委員長) これから入札でしょうか。この予算が固定ではないですね。

(事務局) 今回提案をしてくる事業者は全国で同様の事業をしている実績があり、独自のアプリが既にあると思われるため、開発費というより、利用料の方に経費がかかってくると思われませんが、3月19日にプロポーザル審査がありましてそこで経費を含めて事業者を決定します。

(委員長) わかりました。他に意見等がないようなので、議事を進めますが、後ほど意見や質問等があればお願いします。

(2) 甲府市商工業振興行動計画

ア 「中心市街地等の活性化」(1) 公共空間の利活用による回遊性・滞留性について
事務局より、資料に基づき説明。

(委員長) 事務局からご説明をいただきましたが、ご意見をお願いします。

(委員) 5ページから7ページまでのイベントについて、成功したイベントとあまり人が集まらなかったイベントと多々あるかと思いますが、成功したイベントは継続しているのでしょうか。

(事務局) 令和4年度におしろテラス、令和5年度に甲府のゆたかな WEEKEND、令和6年度に車止めを活用したベンチの設置を実施しておりますが、各年度で実施をしており、継続的には行っておりません。

(委員) 中心市街地の交流人口を増やすということであれば、継続することが大事だと感じますので、検討していただければと思います。また、周知はどのようにされているのでしょうか。

(事務局) 周知方法については、市ホームページや広報誌など活用できる様々な媒体で周知をさせていただきました。

(委員) おしろテラスや、甲府の歴史に触れながら子供から大人まで皆さん感じていただくイベントはとてもよいと思いました。私たちの時代は歴史に触れる機会がたくさんありましたが、今はあまりそのような機会がないように感じます。例えば甲府空襲はテレビをはじめ色々ところで勉強する場があったのですが今はそのようなものがないだろと感じます。甲府の歴史を感じていただくようなこのようなイベントがあるといいなと思いました。さらに、郊外型のショッピングセンターではできないことを何かやっていく方向がいいなと思いました。今更ですが、駐車場割引の対応はあるのでしょうか。

(事務局) 令和4年度から実施しておりますイベントについては、駐車料金の割引は特に実施をしておりませんでした。現在整備を進めております「こうふ亀屋座」や「小江戸甲府花小路」の方は、歴史、文化、様々なものを発信していこうと考えておりますので、運営する民間事業者とも協議を進めながら駐車場料金の割引など考えてまいります。

(委員) 歩行量調査とはどのような数値なのでしょうか。

(事務局) 歩行量調査は毎年11月の最終の金曜・土曜・日曜と3日間の調査をしております。中心市街地の区域内、21地点の調査となります。目標値が148,400人としておりますが、令和5年度の実績は125,519人という状況です。こちらについては、新型コロナの影響が非常に大きいと分析しております。ただ、コロナ後のここ最近の様子をみますと、甲府駅周辺は観光客も非常に多くコロナ前の状況に戻ってきていると感じております。また、「こ

うふ亀屋座」や「小江戸甲府花小路」は、今後まちなかの賑わい創出や回遊の拠点として、また、中心のランドマークとして活用していきたいと考えております。

(委員) 歩行量調査については、何もイベントがないときの調査結果だと思います。そのため、イベント時も同じような調査をして、通常との比較ができないものかと思いました。また、改善というお話もありましたが、春日あべにゆう、春日モール、錦通りあたりは路面が整備され、とてもきれいで歩いてみるととてもいいなと思います。何年か前にアーケードも外して、気持ちいいなと思いますし、以前はタイル張りだった舗道がブロックを敷き詰めたスタイルで、また車道は石畳風の模様をつけた工事をしたり、車道と歩道の境目も電灯がついて幻想的な雰囲気になっているので回遊性に繋がるのかなと思います。

また、舞鶴城公園南側の芝生広場ですが、イベントをすれば人が集まると思います。普段は、親子連れで賑わっていますが、そもそも自由に使える場所なのか、イベントには届出が必要なのか教えていただきたいです。自由にいつでも使える場所であれば、毎週末キッチンカーが1台・2台出ていれば身近な公園になるのかなと思います。

さらに、オリンピックを契機にスケートボードが注目され、中央公園にコースが設置されましたが、その利用度をお聞きしたいです。

(事務局) まず、イベント実施時の歩行量調査については、公表調査としてではないのですが周辺店舗に話を聞くと、通常時の2～3割増しで客数が増加しているとのこと。歩行量調査はかなり昔から11月最終金曜日、土曜日、日曜日で実施しており過去からの分析もございますので、これまで通り調査を実施させていただきたいと思います。

(事務局) 舞鶴城公園の南側広場の活用についてですが、あちらの管轄は山梨県の景観まちづくり室となっております。日常的な公園利用については申請不要でどなたでもご利用いただけます。ただし、イベントの開催や団体での活用等については、管轄に届出が必要となります。今回、甲府まちなかエリアプラットフォームによる「甲府まちなか社会実験」を、10月1日から1か月間行ってきました。中央公園のスケボーの利用については、普段そちらの場所が中々使われていないというところで、若者にとっての目的地として活用したらどうかと民間の皆様のご意見をいただく中で、午後1時～午後8時までの時間帯でスケボーのセクションを設置しました。平日休日ともに夕方頃から学生や仕事終わりの社会人の方々にご利用いただきまして、アンケートを実施したところ、このような空間利用が好評で、満足度も利用者100%でした。今後、日常化を目指して来年度も引き続き社会実験を検討していきたいと考えております。

(委員長) 「実験」という表現をたくさん使われていますが、実験をして結果が出なかったものについては、辞める、コストパフォーマンスが良かったものは続けていくというように

することも必要ですね。毎年続けていけば周知が広がっていくと思います。市には色々なイベントをたくさん企画していただいていると思いますが、残すものとそうでないものの仕分けをされた方がよいと思います。毎回毎回新規のイベントも楽しいのですが、イベントを継続していく方が、市外・県外あるいはインバウンドの外国人に対しては効果があるのではないかと思いますがいかがでしょうか。

(事務局) 甲府まちなかエリアプラットフォームの取組みとしてのお答えになりますが、先ほど、まちなかに対しての効果を図る場所として、舞鶴城公園南広場、オリオン通り、中央公園を活用しましたが、そちらを目的地とか居場所とするための取組みとして様々な社会実験等を実施していきたいと考えております。その効果を検証した上で、取組み内容に少しずつ変化を加えながら継続していきたいと考えております。

(委員長) 回遊性・耐久性は大変大事だと思うのですが、滞留する人たちは甲府市の人たちだけではなく、他市や他県、インバウンドの外国人といった流入人口を増やしていくことも重要だと思います。そのように総合的に回遊性・滞留性が高まるような企画がよろしいと思いますが、誰をターゲットに回遊性・滞留性は想定されていますか。

(事務局) 甲府まちなかエリアプラットフォームのターゲットといたしましては、基本的には地元住民や街中に関係する方としております。その方々に利用していただくことで、好きになっていただくことでさらに外に発信していくことが重要ではないかと考えております。ただし、観光課など産業部としては、観光客や来街者に対する取組みもございますので、そちらと連携を図りながら相乗効果ははかれるような取組みをしていきたいと考えております。

(事務局) 補足になりますが、産業部といたしますと、富士吉田の方に多く来られているインバウンドの方、あるいは県内・県外から訪れる観光客の方に甲府のまちを楽しんでいただけるような取組みを考えております。その1つが今回のこうふ亀屋座・小江戸甲府花小路という施設になりますので、こちらを拠点に多くの方に来ていただき、まちが賑やかになるよう取り組んでいきたいと考えております。

(委員長) 大学に通勤しているときに、大月駅で一気に人が降りるんですね。逆に帰りは大月駅で外国人がたくさん乗ってきます。これを何とか甲府駅でできる策があるといいですね。

(委員) 回遊性・滞留性の関係ですと県内外・インバウンド観光客も含めて対象にすべきかと思いますが、例えば朝日町は東西あるいは北側には住宅が広がっています。昔の商店街の歩いて買い物ができるようなイメージのところに住民が多く住んでいる。一方、中心商店街

の周りには住民がどのくらい住んでいるか、空き家も含めて疑問なので、そのようなところに人が住んでもらえるような施策を全体的に検討していただければと思います。また、スケボーについては、小瀬スポーツ公園駐車場で練習したり楽しんだりしている方が多くいらっしゃると思います。先ほどの中央公園ではスケボーのセクション設置は好評とのことなので、騒音の問題もあるかもしれませんが、常時使えるようなスタイルにしていけば「甲府＝スケボー＝中央公園」というイメージが定着し、回遊性・滞留性に繋がると思います。

(委員) 湯村温泉エリアの開発をされていると思いますが、甲府駅の南口エリア、商店街エリアも回遊する実証実験を考えられているかお聞かせください。

(事務局) 湯村温泉エリアの開発については、現在民間事業者が主体となり整備を進めている状況です。当然、市内唯一の温泉郷であり、甲府の観光の目玉になりますので、随時情報共有をしながら進めていきたいと考えております。また、交通網についても考えていかなければいけないと思っておりますので、そこにつきましても引き続き民間事業者と連携しながら進めていきたいと考えております。

(委員) 回遊性・滞留性について、先ほどメインターゲットは地元住民との話がありましたが、ターゲット別に来訪者の視点で事業を検討していただきたいと思います。その中で、シニアの視点、これからの高齢化社会の中で地域の商店街の役割が大きくなってくると思います。その中で例えば既存店舗のレイアウトや接客などソフト面の見直しが必要になってくると思います。それが、店舗の強みとなり大型ショッピングセンターとの差別化に繋がると思います。

商店街の活性化については、繁盛店を増やすことが大事になると思います。まちゼミや他市で実施されているようですが、参加してる店舗同士でレシートを見せると特典が受けられるようなイベントを開催したり、そのようなイベント等をきっかけに商店街の集客力も高まると思いますので、そのような視点で検討いただければと思います。

(事務局) まずは店舗の商品や接客を知ってもらうことが非常に大事だと感じております。後ほど説明させていただきますが、11 ページから商店街の魅力アップに対して市も色々とサポートさせていただいております。やはり地元の商店街で自分たちの魅力は何か。ということを検討していただき、それぞれの商店街単位で色々なイベントを企画していただくことで誘客やまちの賑わいに繋げていきたいと考えております。

(委員) 銀座でパールの会社が、中国でパールが売れなくなってから、日本のインバウンド効果で、とてもパールが売れているようです。施策の中でグーグル検索でそのお店がトップになるようなことをしており、そのようなお客さんが来る仕掛けをこうふ亀屋座でも実施

したら良いかと思います。

(委員長) SNS 戦略ですよね。広報的な役割として SNS を最大限活用する専門部署はあるのでしょうか。

(事務局) 本市はホームページがメインですが、そこに付随した SNS として、インスタグラム、ライン、X、フェイスブックなどを活用して情報発信をしているところです。メインは情報発信課で、イベントや施策などを集約して定期的に発信しています。発信したらそれでよいということではなく、SNS でいえば、フォロワー数や閲覧数を増やしていかなければ知られていないのと同じになってしまいますので、情報発信の在り方については、担当課メインで考えて進めていきたいと考えております。

(委員) 二、三日前に新聞報道もされましたガンダムのマンホールですが、とても話題になっているようです。例えばガンダム好きの方には一つの魅力でしょうし、マンホール作るのにどのくらいかかるかわかりませんが、エリアの中にいくつもあると魅力アップに繋がるのかなと思います。マンホールの写真を撮るためだけに全国を飛び回る方もいらっしゃるようなのでニーズはあるのかと思います。また、先ほどの SNS の話ですが、何年か前にポケモン GO のようなもので、例えばこうふ亀屋座に行けば限定のポケモンがゲットできるというような甲府の中心街ではレアポケモンがゲットできるとか、そのようなことも検討いただけたらと思います。

(事務局) 例えば、ガンダムをきっかけに来客数が増えるような傾向であれば、施策としてはありなのかと思います。先ほどお話いただいたポケモンや色々な情報をいただきながらネタ探しを検討していきたいと思います。

(委員) 今でも市立図書館に行けばマンホールカードがもらえることになっていますよね。何種類も甲府市で既にやっています。

また、後輩でアマチュアバンドをしています。桜町で講演をするときに一定のお客さんが常に来てくれるので、甲府はジャズに理解があるまちという認識があるようです。こうふ亀屋座の性格はどの辺にもっていくのか、それをコントロールすることによって桜町のジャズのように特徴をつけると面白くなるのではないかと思います。

(委員長) こうふ亀屋座は貸し出しイベント施設ですよね。

(事務局) おっしゃる通り、どちらの方に対しても貸し出しすることができます。外観が芝居小屋風の建物になっており、一帯が小江戸風なので、落語や寄席などを開催していただき

たいと思っておりますし、コンサートや市民の方の発表の場など、いつも何かやっているという形で使っていただきたいと考えております。

ア 「中心市街地等の活性化」(2) 商店街等の魅力アップ活動等への支援について

事務局より、資料に基づき説明。

(委員長) 事務局からご説明をいただきましたが、ご意見をお願いします。

(委員) 7月の第1回の委員会の際に、中心市街地の空き店舗は、15年間で100件以上減っておりホームページにも掲載していただいているとのことですが、営業店舗は150件くらい減っており、結局何が増えているかがわかりません。老朽化した空き店舗は調査から除外しているのでしょうか。老朽化していても空き店舗なので、老朽化している建物がどのくらいあって、それが除外されていて15年前からどのように変化しているのか、それに対する対策を立てるべきだと思いますが、ご意見をお聞かせください。

(事務局) 貴重なご意見をありがとうございます。こちらの調査は空き店舗で貸し出しができるような店舗がどのくらいあるかをメインに調査しております。老朽化で貸し出しができない店舗については、把握はしておりますが、数値化はしておりません。おっしゃる通り老朽化している店舗をそのままにしておけば商店街全体の活性化には繋がらないと思いますので今後どのように活用していくか、産業部だけでなく、全庁的に関係部署と協議をしながら検討していきたいと考えております。

(委員) それに加えて魅力ある店舗の誘致が必要だと思います。中心商店街にいくつか有名店や魅力がある店舗ができれば回遊性が高まると思います。イベントの開催も大事ですが、いかに魅力ある店舗を誘致するか、家賃の問題もあると思いますのでぜひ家賃補助を継続したり強化していただきたいと思います。また、中心商店街以外にジュエリークラフトエリアを作り、宝石美術専門学校を中心に周辺がジュエリーの関係の場所に指定されており、補助金が多くもらえることをしていただいておりますが、どのくらい老朽化していたり、空き店舗があるかわかりませんが、そのあたりを公表していただくとか、人材の育成の関係でシェア工房を設置して観光客に見てもらおうなど甲府市とジュエリー業界が取り組むことで魅力あるまちづくりをしていければと思いますのでご検討をよろしくお願いします。

(委員長) 老朽化判定は産業部が実施するのでしょうか。

(事務局) 中心市街地振興課の職員が目視で調査をしておりますので建物の老朽化を専門家が判定するところまではしておりません。老朽化判定には要件もあると思います。所管部署もこの場で確認できませんので、改めて確認させていただきます。

(委員) 実際、老朽化が増えてきている認識はあるのでしょうか。

(事務局) 古い建物が多いので老朽化はかなり進んでいると感じております。

(委員) 空き店舗が少なくなってよかったのではなく。空き店舗すらなくなってしまった感じもしますがいかがでしょうか。

(事務局) 空き店舗数が減っていることは事実ですが、駐車場や道路整備によって店舗がなくなってしまったこともございます。使えなくなった物件が多くなったというふうには考えておりません。

(委員長) しかし老朽化した店舗でも立地条件がよければリニューアルして入居はありえますよね。立地が大事じゃないですか。

(事務局) おっしゃるとおり立地がかなり影響してくると思います。リノベーションで活用できることもあると思いますので周知していきたいと思います。

(委員長) 「老朽化している」ということは周知されていますか。

(事務局) 空き店舗の周知は、「まちづくり甲府」でホームページにて公表させていただいておりますので、リノベーションによって活用できることもホームページ等で周知をしていきたいと思います。

(委員長) 老朽化していても周知の対象にはなっているのですね。

(委員) 合同会社まちづくり甲府は甲府商工会議所の中にあり、常時職員2名で市から1名と会議所から1名という体制です。定期的に空き店舗見学会を開催しておりますが、甲府市の空き店舗補助金も紹介しながら実施しており、参加者は毎回10名近く集まっているようです。見学会には工務店も同行していただき、リノベーションの助言や雨漏りなどの補修に関する助言などもいただきながら実施しています。また、先ほど宝石美術専門学校を中心としたエリアの話がありましたが、ちょうど立地がいいところに金物屋さんがありシャッターが閉まって1・2年たつと思います。場所を借りるとなると相続の関係もありますので、市からアプローチはできるのでしょうか。また、補助金は昼間に営業することが要件となっておりますが、最近は物販より飲食系のお店が増えてきており、夜メインで営業したいが、補助金獲得のために昼間はランチをして工夫しているところもありました。空き店舗数が

減っているという話がありました但实际上だと思います。

(委員) 空き店舗の活用は非常に重要だと思います。補助金を活用する上で、新規出店する事業者は2号店でも対象になるのでしょうか。

(事務局) 中心市街地に2店舗までは補助金の対象です。郊外で出店している方が中心に2号店を出したいという場合も対象です。

(委員) ありがとうございます。また、補助内容についてお伺いできますか。

(事務局) いくつかパターンがありますが、基本的に家賃は月3万円を上限に3分の1補助です。先ほどのジュエリーの特区や女性の起業、39歳以下の若い世代の方の出店については、補助率が3分の2や2分の1になります。また、改装費は上限が15万円となります。

(委員) なるべく多くの方に補助金を活用いただき新規出店していただきたいと思うのですが、改装費上限15万円も少ないと思います。もう少し予算を費やしていただくことを検討していただききたいと思います。また、大変失礼ですが、逆に商店街へのLED街路灯の一部電気料補助や損害保険加入補助金が本当に必要なのかと思います。

(委員長) 出店は昼縛りがあるのですね。飲食店はしんどいですよね。

(事務局) 中心市街地でランチを食べられる店舗が非常に少ないというところがあり、この補助金を創設する際にはその辺も考慮してお昼の営業を条件化したところですが、エリアごとに商店街の特色もございますので、今後、改正をする理由として考えていきたいと思っています。

(委員) 朝日町の車止めを利用したところですが、どちらが車止めなのでしょう。また、はじめから2か月半の予定でその後は撤去されるということでしょうか。

(事務局) ちょうど柱の部分、少し茶色いところが車止めとなっております。また、期間についてですが、耐久性の問題もあり朝日町がこの道路を活用して様々なイベントを実施しております。(4月はハナミズキまつり、夏祭り、毎月第四日曜日のマルシェ) そのようなイベント時にお客さんが多いのでそういったところでまた活用していただこうと考えております。ただし一旦3か月半には外し、イベント時に活用していただきたいと考えております。

イ 「次期計画の概要」について

事務局より、資料に基づき説明。

(委員長) 事務局からご説明をいただきましたが、ご意見をお願いします。

(委員長) 資料の赤枠の中は条例で定められているので変更できませんが、赤枠以外の項目を検討していくということですね。次回の委員会で事務局案を出していただけるということによろしいでしょうか。

(事務局) はい。事務局案を出し、それについてご意見をいただければと思います。

(委員) 令和5年度に策定された産業ビジョンや甲府市宝飾産業振興戦略プランとの関連を教えてくださいませんか。

(事務局) 産業ビジョンは農業や林業など産業全体に関わるものとなっております。甲府市行動計画と目指すべきところが違ってはいけないため、こちらの行動計画自体を条例の下に位置づけ実効性を持たせるために策定しております。

また、宝飾産業の振興プランは今年度中に策定し、お示しをしていく予定です。宝飾産業のプランについては、産業ビジョンの「稼ぐ」と連携しておりますので、そこは関連性のあるプランとして位置づけていきたいと考えております。直接の関係性ですと、例えば総合計画が一番上にあってそこに紐づいて、その他の計画があるというような位置づけではないのですが、この行動計画と他の計画との内容、がちぐはぐにならないよう商工課で把握しながら進めていく事業となります。

(委員長) どんどんスクラップ&ビルドしていくことが望ましいですね。

(委員) 「個別経営相談会の実施」について、甲府商工会議所においても毎月定例で3回程、中小企業診断士の先生に来ていただき、相談会を実施しています。例えば、3回中1回は甲府市さんと連携すれば実績はあるのかと思います。

(3) その他

(事務局) 今年度は本日の委員会をもちまして解散とさせていただきます。次回の委員会は6月を目処に開催させていただく予定です。委員は改選というかたちになりますが、同じ委員の方にご協力いただいたり、組織的な立場で選出いただくようなケースがあろうかと思っております。来年度もご協力をいただきたいと思います。また、3月1日の土曜日は「こうふはっこうマルシェ」を開催いたします。ぜひお時間ありましたら覗きに来ていただけるとありがたいです。また、来年度の委員の推薦等については、後日事務局から通知をさせていただきます。

きます。引き続きよろしく願いたします。

以上